

森林ボランティア団体 おとずれ山の会

「おとずれ山の会」は、平成18年から活動している森林ボランティア団体です。千葉県木更津市真里谷の音信山と千葉県市原市の天羽田の森を中心に、森林づくりを通じて、自然との共生や環境保全を目指した整備・保全活動を行っています。

森づくりを楽しみながら、

自然との共生と環境保全を考える

「おとずれ山の会」は、森林ボランティア活動を行っていた創設会員の「さまざまな山で活動を行うよりも、じっくりとひとつの山に手をかけ、変えていきたい」という思いをきっかけに、定年退職後の夫婦を中心としたメンバーによって発足しました。

平成18年10月に、藪と竹で人が入ることのできない状態だった音信山の一部を購入して、近隣の有志とともに整備・保全活動を開始し、現在に至るまで、徐々に活動フィールドと活動内容を広げています。

広がる活動フィールド

会では、「千葉県里山の保全、整備及び活用の促進に関する条例」(千葉県里山条例)に基づいて、平成19年に音信山を対象とした里山活動協定を土地の所有者との間で締結して活動しています。

また、同年には千葉県学習塾協同組合(JAC)からの委託で、設立20周年を記念して環境学習の場として設けた市原市天羽田地区「JACの森」の整備を行い、平成24年度からは会へ全面的に管理が移管されて整備を続けています。

さらに平成24年には、市原市独自の助成制度に基づいて、「JACの森」に近接する約1haの市有林の整備も開始。拡大した活動フィールドで、下草の刈り払い・除伐・枝打ちなどを中心に、月2回の森林保全活動を行っています。



森林環境教育イベント「森林浴と里山体験」(平成25年11月)



一年の作業安全を願って、年始めの安全祈願(平成26年1月)

おとずれ山の会

- 活動内容 森林の整備・保全活動
- 会員数 18人
- 活動フィールド
千葉県木更津市真里谷字音信山(2.2ha)
千葉県市原市天羽田(2.7ha)ほか
- 活動日
原則第2、第4日曜日(8月は休み)
夏季:午前9時~午後2時30分
冬季:午前9時30分~午後2時
- ホームページ
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~kofuwinds/>



間伐材を活用した案内板制作(平成25年2月)
間伐したスギ材を使って森林の案内板を設置。



倒木を活用したなめこ栽培(平成25年2月)
強風で倒れたヤマザクラを利用して駒打ち
を行い、初のなめこ栽培に挑戦。



刈払機・チェーンソー安全講習会(平成
25年7月)
会員のほか、一般の参加者も募集して安
全講習会を実施。



丸太運搬作業(平成25年1月)
間伐したスギ材を加工するため、ワイヤーと滑車
を使って移動。



環境イベント「エコフェアいちほら」に参加(平成25年
6月)
間伐した木材や竹の再利用をテーマにしたヒノキの
テーブルとイス等のクラフトを展示・販売。

自然と親しみ、楽しみながらの活動を

同会の基本理念は森林づくりを通じて、自然に親しみ、楽しむこと。活動目標は、自然との共生や環境保全の推進に寄与することです。自然に対して謙虚な姿勢で臨み、共生を目指すとともに、美しい自然環境を次代へと伝えることです。

そのための活動方針として、会では

- ・森林の本来の姿を尊重し、自然に優しい活動を進める「手づくりズム」
- ・急がず、楽しみながら、100年、200年という長期的視点で森林づくりに取り組み「ゆったりズム」
- ・森林との静かな対話を大切に、草花や鳥や小動物の豊かな森林づくりを目指す「ひっそりズム」

の3つを掲げています。

活動内容も森林の整備・保全活動にとどまらず、自然観察会・安全技術講習会の開催、シイタケ植菌や間伐材加工などの里山活用に取り組みほか、環境イベント「エコフェアいちほら」に参加するなど、自然の恵みや利用に関する情報発信にも努めています。

自然との共生と環境保全のために

平成21年からは、環境保全活動を行おうとする企業と協働して活動を行う、特定非営利活動法人ちば里山センター実施の「里山サポートシッププログラム」に参加し、企業内ボランティアの育成や社会貢献に協力しています。

また、メンバー以外にも広く一般の参加者を募った安全技術講習会を開催するなど、安全意識の向上を目的とした活動にも取り組むとともに、平成22年には、環境意識の高揚を目指して、森林の整備・保全活動による「CO₂削減量認証」を千葉県内の民間団体として初めて受けました。千葉県によって認定された会のCO₂削減量は、年間2トン強です。

森林整備と里山としての活用を目指して

今後の活動目標として、整備・保全活動を継続していくとともに、水源かん養保安林としての機能保全や、スギ、ヒノキ等の針葉樹とコナラ、クヌギ、ヤマザクラ、モミジ等の落葉樹による複層林の整備に力を注いでいきたいと考えています。また、整備された里山を自然観察や憩いの場、安全技術講習会、アスレチック等のフィールドとして多面的に活用するとともに、企業・団体との協働促進や地権者との連携等、地域開発にも取り組んでいく予定です。